

内田誠 ちかた 隨筆家、俳人。明治二十六年二月七日東京生れ、昭和二十年八月十一日歿（八三—一九五）。號水中亭。大正六年東京農業大學卒。會社員。いとう句會同人。晩年の幸田露伴の親炙。

著書『河豚鮫鯨』（内題「ふぐ・さめ・くちう」水中亭名、昭和六年二月跋、無刊記）、『たばこ』（合著、昭和六年十一月五日時事新報社編刊）、隨筆集『喫茶卓』（昭和十一年十一月二十五日双雅房）、『緑地帯』（昭和十二年七月十一日モダン日本社）、『影書集』（水中亭名、昭和十六年五月刊）、『いかるがの集』（昭和十八年八月）『白石原求龍堂』、『雜華嚴淨』（合著・上司海雲編、昭和十八年十月十五日奈良・雜華乃園發行所）、『唐招提寺論叢』（合著・唐招提寺戒壇院藏書大和上頌徳會編、昭和十九年二月二十日京都・桑名文星堂）、『いとう句會句集』（合著、昭和二十一年五月二十日石川・いとう書房）、『會社員』（昭和二十一年九月十五日有情社）、『落徳抄（露伴先生公問いた話）』（昭和二十二年十一月二十五日青山書院）、隨筆『タムシキ話の』（合著、昭和二十四年八月一日 日本書 賣公社 東京地方 詩壇草部編刊）等。

